

一般社団法人 **日本建設機械工業会**
JAPAN CONSTRUCTION EQUIPMENT MANUFACTURERS ASSOCIATION (CEMA)

日本建設機械工業会とは

About CEMA

日本の建設機械産業の健全な発展を図り、日本経済の発展と国民生活の向上に貢献することを目的としています。

主要事業

経営高度化委員会

経営の高度化

運営委員会

円滑な事業運営

国際委員会

グローバル展開の支援

技術製造委員会

環境、安全、その他の技術的課題への対応

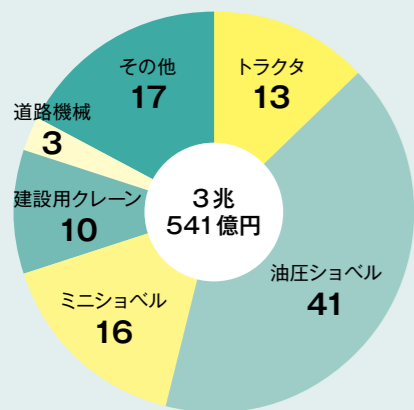
流通サービス委員会

健全な流通・サービス基盤の整備

イノベーション委員会

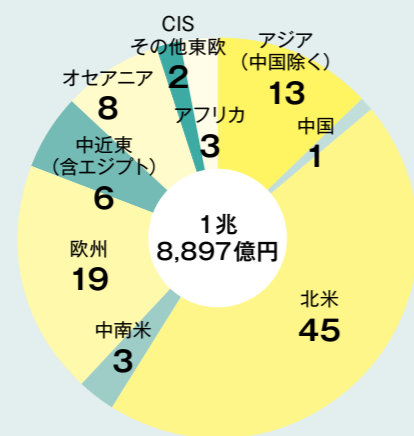
産業の高度化

2022年度
建設機械別出荷金額構成比 (単位%)



補給部品を除いた建設機械本体出荷金額 【出典：建機工自主統計】

2022年度
地域別輸出構成比 (単位%)



暮らしをささえる建設機械

How construction equipment supports our way of life

除雪

ホイールローダ、モータグレーダ

畜産

ホイールローダ、ミニショベル

建設資材

ブルドーザ、ホイールローダ、アスファルトプラント、コンクリートプラント、オフロードダンプトラックキャリア、自走式粉砕機、クローラドリル

リサイクル

マグネット仕様油圧ショベル、グラブ仕様油圧ショベル、自走式粉砕機、自走式スクリーン

林業

林業仕様油圧ショベル、トラック搭載型クレーン、キャリア、自走式木材粉砕機

建築・解体工事

油圧ショベル、解体仕様油圧ショベル、クローラクレーン、油圧クレーン、タワークレーン、高所作業車、トラック搭載型クレーン、コンクリートパイプレータ、基礎機械

港湾・荷役

マグネット仕様油圧ショベル、グラブ仕様油圧ショベル、クローラクレーン

護岸・河川・橋梁工事

油圧ショベル、クローラクレーン、フローティングクレーン、基礎機械、キャリア

造成・環境工事

ICTブルドーザ、ICT油圧ショベル、油圧ショベル、締固機械

道路工事

締固機械、アスファルトフィニッシャー、モータグレータ、路面切削機、コンプレッサ

生活関連工事

油圧ショベル、油圧クレーン、高所作業車、トラック搭載型クレーン、コンクリートポンプ

トンネル・上下水道

シールド、小口径管推進機械、ドリルジャンボ、クローラテレスコ

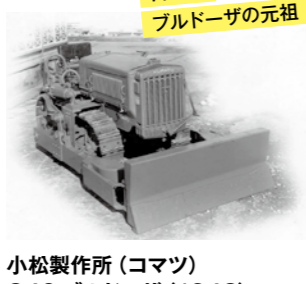
詳しくは [日本建設機械工業会](#)

建設機械の歴史と変遷

History of Construction equipment



国産初
電気ショベル
神戸製鋼所(現・コベルコ建機)
50K 電気ショベル(1930)



日本の
ブルドーザの元祖
小松製作所(コマツ)
G40 ブルドーザ(1943)
1942(昭和17)年12月、飛行場建設に使用する目的で、海軍から生産要請。



国産
ラフテレーンクレーンの先駆け
多田野鉄工所(現・タダノ)
TR-150 ラフテレーンクレーン(1970)
運転席で道路走行とクレーン作業の二つの操作が可能。四輪駆動で悪路にも強くコンパクトでもあるため、狭い不整地の現場にも対応。



世界初 ミニ機
神戸製鋼所(現・コベルコ建機)
RK70M/RK70 ミニラフテレーンクレーン(1989)



環境創造型
建設機械の
先駆け
コマツ
BR60 自走式破砕機(1992)
コンクリート塊などのガラを、その場で細かく破砕、路盤材や建築物の基礎材に再利用にと開発。



国産初
オールテレーン
クレーン
タダノ
AR-5500 オールテレーンクレーン(1998)
国内最大 550t 吊りオールテレーンクレーン。

日本における 建設機械製造あけぼのの時代

第二次世界大戦 前後 ~ 1945
(昭和 20年)

1945
(昭和 20年)
~ 1949
(昭和 24年)

建設機械産業の 再出発



小松製作所(コマツ)
D50A ブルドーザ(1947)
55馬力、重量8t。戦時中に試作したトロー車をベースに開発。故障が多く、その後多くの改良が施される。



日本初
ケーブル式
ドラグライン
日立製作所(現・日立建機)
UO5 ショベル(1949)

1950
(昭和 25年)
~ 1959
(昭和 34年)

本格的な機械化 施工がスタート



国産第1号
機械式クローラクレーン
石川島コーリング(現・加藤製作所)
330 スプローラクローラクレーン(1952)
石川島重工業が米国・コーリング社と技術提携、設立した石川島コーリングが製造した機械式クレーン。



日本初
トラッククレーン
神戸製鋼所(現・コベルコ建機)
10KT トラッククレーン(1953)
10KT(6t)とともに20KT(10t)を完成させ、警察予備隊へ納入。

1960
(昭和 35年)
~ 1965
(昭和 40年)

高度成長期の 日本をけん引



ショベルの代名詞
商品名「ユンボ」
新三菱重工業(現・キャタピラー)
ユンボ Y35 油圧ショベル(1961)
フランス・シカム社と技術提携した新三菱重工業が国産化。現在でもショベルを「ユンボ」と呼ぶ人が多い。



国内初 純国産
油圧ショベル
日立建機
UH03 油圧ショベル(1965)
バケット容量0.3m³、重量8.3t。ユーザから高い評価を得、世界各地で活躍する「日立 UH 油圧ショベル」の完成させ、警察予備隊へ納入。

大型化、高機能化 へ進歩発展

1966
(昭和 41年)
~ 1974
(昭和 49年)

1975
(昭和 50年)
~ 1988
(昭和 63年)

高度成長から、 安定成長へ転換



古河鉱業(現・古河ロックドリル)
HCR200 クローラドリル(1977)
油圧式クローラドリルの国産第1号。1983(昭和58)年ごろから本格的な全油圧式ドリルの時代へ突入。



オカダアイオン PCP-S001
自走式クラッシャー(1987)
解体現場用自走式のクラッシャーとしては国内初。

2020 時点の展望

建設機械の「新世代化」が進行



日立建機
ZW シリーズホイールローダ(2006)
TCM と共同開発。走行性能の大幅向上をはじめ、操作性・作業性に優れたオフロード法に対応した次世代のモデルとなりました。



新キャタピラー三菱(現・キャタピラー)
CAT793C ダンプトラック(2002)
積載重量218t、重量147.4t、定格出力1615kWの国内最大の超大型ダンプトラック。石灰石鉱山で稼働。



住友建機 SH250-6MH
マテリアルハンドリング機(2014)



建設機械として
省エネ大賞初受賞
住友建機
SH200-5 LEGEST 油圧ショベル(2008)
燃費などの経済性が高く評価される。



コマツ
PC30E-5(2020)
バッテリー駆動式ミニショベル。エンジン駆動式と同等の掘削性能を発揮しつつ、「排気ガスゼロ」や騒音の大幅低減を実現。

CEMA のあゆみ

History of CEMA

年号	話題
1990(平成2)	4月 (社)日本産業機械工業会から分離独立、任意団体として日本建設機械工業会(建機工)を設立 6月 通商産業省(現・経済産業省)より(社)日本建設機械工業会の設立認可
1991(平成3)	3月 「独禁法マニュアル」を作成
1992(平成4)	3月 「建機工の活動と独禁法」を作成 出荷金額統計を作成 需要予測を作成
1995(平成7)	1月 阪神・淡路大震災発生・災害復旧支援窓口を設置 6月 「安全マニュアル」を作成 7月 製造物責任(PL)保険制度を創設
1997(平成9)	8月 ホームページ「CEMA WORLD」を開設 9月 「建設機械の統一安全基準と警告表示に関するガイドライン」を制定
1998(平成10)	11月 「地球環境保全のための自主行動計画」を策定
1999(平成11)	6月 「移動式クレーン定期自主検査者制度」を創設
2000(平成12)	5月 建機工設立10周年
2002(平成14)	4月 ホームページを改訂し、会員専用ページを設置 11月 「コンクリートポンプ車整備証明制度」を創設
2003(平成15)	3月 「不当表示状況にある建値の是正に関する指針」を策定 「建設機械の盗難防止装置に関するガイドライン」を制定 11月 「適正表示等に関するガイドライン」を制定
2006(平成18)	3月 「我が国建設機械産業の将来展望調査研究報告書(2005ビジョン)」を作成
2008(平成20)	3月 「地球環境保全のための自主行動計画」を改訂
2010(平成22)	5月 建機工設立20周年 「日本建設機械工業会20年のあゆみ」を発刊
2011(平成23)	3月 東日本大震災発生、震災相談窓口を設置 9月 内閣府より一般社団法人の移行認可
2013(平成25)	12月 「建設業界の独禁法Q&A集」を作成
2014(平成26)	4月 調査部を開設
2017(平成29)	3月 「協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画」を策定
2019(令和元年)	12月 サービスマンリクルート用動画を公開
2020(令和2)	5月 建機工設立30周年 「日本建設機械工業会30年のあゆみ」を発刊
2021(令和3)	7月 CN実現に向けた要望とりまとめを提出
2022(令和4)	7月 CN実現に向けた要望とりまとめ(2022年版)を提出

※ CN: カーボンニュートラル

社会に役立つ建設機械

Construction equipment helping society

地雷の野原を生活の場へ

コマツ

安全な村づくりプロジェクト

2008(平成 20)年から認定特定非営利活動法人「日本地雷処理を支援する会 (JMAS)」と提携し、カンボジア、アンゴラ(終了)、ラオスにおいて、対人地雷で苦しむ地域における地雷除去活動ならびに復興までのコミュニティ開発事業のプロジェクトを行っています。地雷除去後の安全な土地で、建設機械を活用して農地開発をはじめ、コミュニティの再生・復興事業までを行いました。



カンボジアのインフラ整備に活躍する油圧ショベル



対人地雷除去機

International Contributions



国際貢献

被災の作業員 全員救出

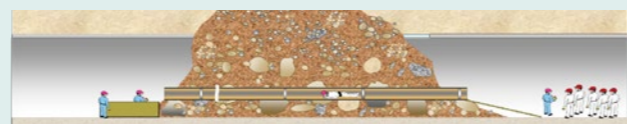
鉾研工業

崩落事故現場で活躍・ポーリングマシン

中国の救援隊から協力要請を受け、当社社員と当社中国代理店の社員が崩落事故現場に急行し、防爆型アロードリル RPD-180CBR で崩落土塊を 21m 掘削・貫通させ、作業員 9 名の生存を確認。水・食料を坑内作業員に供給するための救済用ライフライン設置に成功し、水、食料の供給と通信機器による連絡が取れるようになりました。



FS-120CZ(中国独自クレーン機械搭載)



FS-120CZ(中国独自クレーン機械搭載)による救出作戦

東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震で稼動

諸岡

東日本大震災(2011年)では、陸上自衛隊による行方不明者の捜索や、がれきの輸送に当社の資材運搬車が使われました。また、津波の被災地では、家屋や流木等の木材がれきを処理するために当社の木材破砕機が使われています。



気仙沼にて、油圧ショベルと協働し木材がれきを粉砕する自走式木材破砕機

水辺を乗り越え廃材を運ぶ資材運搬車(陸上自衛隊仕様)

Disaster Recovery Support



災害復興支援

災害・復旧・復興現場で活躍する発電投光機

ヤンマー建機

ヤンマー建機が提供する製品の一つである発電投光機は、長時間にわたり広範囲に光を届けることができ、身の安全を確保するための避難所や復旧現場の後方支援として活躍しています。



発電投光器

グアテマラでの災害現場での様子

極寒の地・南極で活躍中

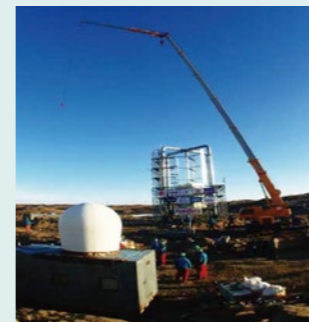
加藤製作所

昭和基地の支援

2015(平成 27)年以降、最低気温マイナス 45℃という極寒の昭和基地に 35t 吊りラフテレーンクレーン MR-350Ri、8t クラス油圧ショベル HD308US-6、そしてコンパクトトラックローダ CL45 を納入。現地観測施設の「昭和基地」に係る新築建替え及び地盤整備、除雪作業並びに物資の運搬等、さまざまな分野で活躍しています。機械の輸送は、南極観測船「しらせ」で輸送します。



「しらせ」でのクレーン輸送の状況



Contributing with technology



技術で貢献

安全な施工を推進

古河ロックドリル

インフラを陰から支えるドリルジャンボ

2016(平成 28)年より山岳トンネル工事現場で岩盤を発破するための装薬用の孔(あな)を掘るドリルジャンボに、3次元化されたせん孔エネルギーを用いて定量的な地山評価を行うことができる「ドリル NAVI」を導入。最適な支保パターンや補助工法の選定も可能とし、道路や鉄道などの公益的な構造物のインフラ整備を陰から支える、トンネル工事に欠くことのできない存在として、更に実績を積み上げていきます。



山岳トンネル施工に活躍するドリルジャンボ



ドリル NAVI ※
※国土交通省の NETIS(新技術情報提供システム)に登録。NETIS 登録番号: KK-160012-A

森づくりに貢献

コベルコ建機

林業機械でのカーボン・オフセット

コベルコ建機は、2013(平成 25)年 10月1日より、地球温暖化防止や森林整備への更なる貢献のため、カーボン・オフセット制度を活用した独自のプログラム、コベルコ「カーボン・オフセット」プログラムを実施。地道な活動が評価され、2015(平成 27)年に「第 5 回カーボン・オフセット大賞」農林水産大臣賞を受賞しました。



林業機械 SK75SR

Environmental measures



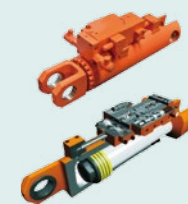
環境対策

独自技術の採用で環境改善

日本ニューマチック工業

ハイスピード & ハイパワー、油圧ショベルへの負荷低減

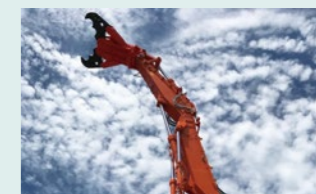
NPK のブースタは、シリンダ内圧を必要な時に必要な分だけ増圧させる機構で、解体機に搭載できるサイズにまでコンパクト化した唯一無二の独自技術。ハイスピード & ハイパワー、油圧ショベルへの負荷軽減を実現し、「工期短縮」「燃料消費量削減 = CO2 排出量削減」等の環境改善効果が公的機関にて認められています。



ブースタ搭載小径化シリンダ



ブースタを搭載した小割圧碎機 (G200)



ブースタを搭載した大割圧碎機 (SV-110XR)

環境調和に向けた取り組み

Initiative for environmental harmony

カーボンニュートラル社会の実現への取り組み

建設機械が排出するCO2の削減目標

2030年までに **160万t-CO2**

建設機械業界は、建設機械の燃費改善やハイブリッド式を含めた省エネ型建設機械の開発と実用化により、CO2の排出削減に取り組んでいます。今後は効率的な建設機械の利用なども含め、政府や建設施工事業者と一体となって取り組みを進めていきます。

建設機械製造における省エネルギーの実現

2013年比で既に **24%削減**

建設機械自体の省エネに加え、生産設備や建屋等の更新時においても、不断の省エネ活動に取り組んでいます。建設機械業界は、目標年度である2030年に向けて、更なる削減に取り組めます。

建設機械のリサイクルへの取り組み

リサイクル可能率

97%以上

建設機械は自動車・家電製品に比べて、リサイクル困難な樹脂部品等の使用割合が少なく、リサイクル可能率(技術的にリサイクル可能な割合:重量比)は現状でも高い値です。

環境創造型建設機械

自走式破碎機開発

近年、建設工事にともなって発生するコンクリートやアスファルトなどの建設廃材を工事現場で破碎して路盤材や骨材として再生する自走式破碎機が開発され、普及してきています。



コマツ BR380JG-3 ガラバゴス

未来世代へのPR

Promotions to Future Generations

「こども・夢・未来フェスティバル」への参加

アイチコーポレーション

主催：認定特定非営利活動法人 彩の子ネットワーク

2003年より、地域の子どもたちを対象とした高所作業車の試乗体験会を実施。子どもたちにとって、日常生活では接する機会の少ない「働く自動車」への試乗体験をきっかけに、将来、働くことに対する興味づけ・意識づけに寄与しています。



行列ができるほどの人気ぶり!

レゴ®ブロック教室

住友建機

「青少年の育成」を目的に定期的に開催。世界に23人しかいないレゴ®認定プロビルダーの三井淳平さんを講師に招き、子どもたちに「モノづくり」の楽しさを学び、創造力を育む機会を提供しています。



「モノづくり」の楽しさ、体感中!

日本科学未来館の企画展に出展協力

住友重機械建機クレーン

2019年、「企画展『工事中!』～立ち入り禁止!?重機の現場～」に出展。350t吊りクローラークレーン SCX3500-3の運転席やウインチ、ハンマーヘッド、フックなど全10機種を展示しました。90日間の会期中、約14万人が来場され、普段間近に見ることのできない工事現場の様子を楽しんでいました。



大人気だったクレーン運転席の試乗

STEM「リケジョ」を応援&増やす活動

キャタピラー

(Science Technology Engineering Mathematics)

世界を元気にする地域の女性エンジニアの育成・支援、受賞者に奨励金を贈る「キャタピラーSTEM賞」を2018年に創設。企業や大学の第一線で活躍する若手研究者中心の一般部門に加え、2019年より次世代育成のために学生部門を新設しました。2020年からはプログラミング体験を実施しています。



「エンジニアになりたい!」子、集まれ~!

未来に向かって働く人々の声

もっと見たい!方はコチラ▶



さまざまな職種、働き方を紹介!

人々の暮らしの基盤づくりに貢献しよう

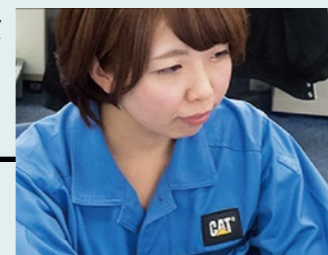
日本車輛製造株式会社 M・S様 2016年入社



建設機械を製造する機電本部にて、塗装工程管理を担当しています。部品段階での先行塗装や組立後の建設機械本体の塗装の工程管理、作業者のサポートが主な仕事です。実家の近くで高速道路建設の基礎工事が自分の携わった機械で、建設の担当も日本車両だとわかったときは、当社の企業理念である「社会基盤の充実と発展に幅広く貢献する」の理念通り日本社会の役に立っている!ことを、改めて感じました。

より騒音の静かな油圧ショベルの設計に挑む

キャタピラー M・A様 2014年入社



油圧ショベルのエンクロージャー(外装)部品の設計をしています。主に吸音材の設計最適化を行い、より騒音の静かな油圧ショベルの設計に尽力しています。また、日々コスト削減アイデアを模索しています。設計の仕事の難しさは、これといった正解がないこと。正解のない中で、最適を見つけ出して設計を進めていかなければならない。そこが現在の仕事の厳しさでもあり、やりがいのある部分でもあります。

法務の枠にとらわれない提案で事業の成長を後押し

日立建機株式会社 M・S様 2006年入社



国内・海外の取引先との契約書の作成・審査を中心に、トラブルの相談対応、法令調査や訴訟対応の業務に携わっています。研究開発、生産・調達、販売、輸送、アフターサービスなど多様なステージの案件を扱い、国や関係者、事情も様々なので、エキサイティングな毎日を送っています。「守り」ばかりに偏らず、事業部門に寄り添い、会社や事業を成長させるためにリスクを抑えつつ前進するアイデアや提案を模索しています。

役員紹介

Directors/Officers

会長のあいさつ

時代の変化の速さに加え、この数年間は経験したことのないウイルスの影響を受けるなど、混沌とした時代となっておりますが、工業会は会員各社とともに、関係行政当局のご指導・ご協力を頂き、建設機械産業の更なる発展と持続可能な社会の実現に貢献するため、工業会の活動の価値をさらに高めていけるよう会の運営を行ってまいります。

会長

本田 博人

キャタピラー・ジャパン (同)
代表執行役員



副会長



山本 明
コベルコ建機 (株)
代表取締役社長



先崎 正文
日立建機 (株)
代表執行役員
執行役社長兼 COO



小川 啓之
コマツ
代表取締役 (兼) CEO



数見 保暢
住友建機 (株)
代表取締役会長



酒井 一郎
酒井重工業 (株)
代表取締役社長

専務理事



小山 智
(一社)
日本建設機械工業会

常務理事

佐藤 二三男
(一社)
日本建設機械工業会

平井 利長
(一社)
日本建設機械工業会

理事

山岸 俊哉 (株) アイチコーポレーション 代表取締役社長
林 哲平 エクセン (株) 代表取締役社長
岡田 祐司 オカダアイヨン (株) 代表取締役社長
加藤 公康 (株) 加藤製作所 代表取締役社長
北川 祐治 (株) 北川鉄工所 代表取締役会長 兼 社長
湯川 勝彦 (株) クボタ 専務執行役員 建設機械事業部長
木山 隆二郎 鉦研工業 (株) 代表取締役社長
原口 茂 三和機材 (株) 代表取締役社長

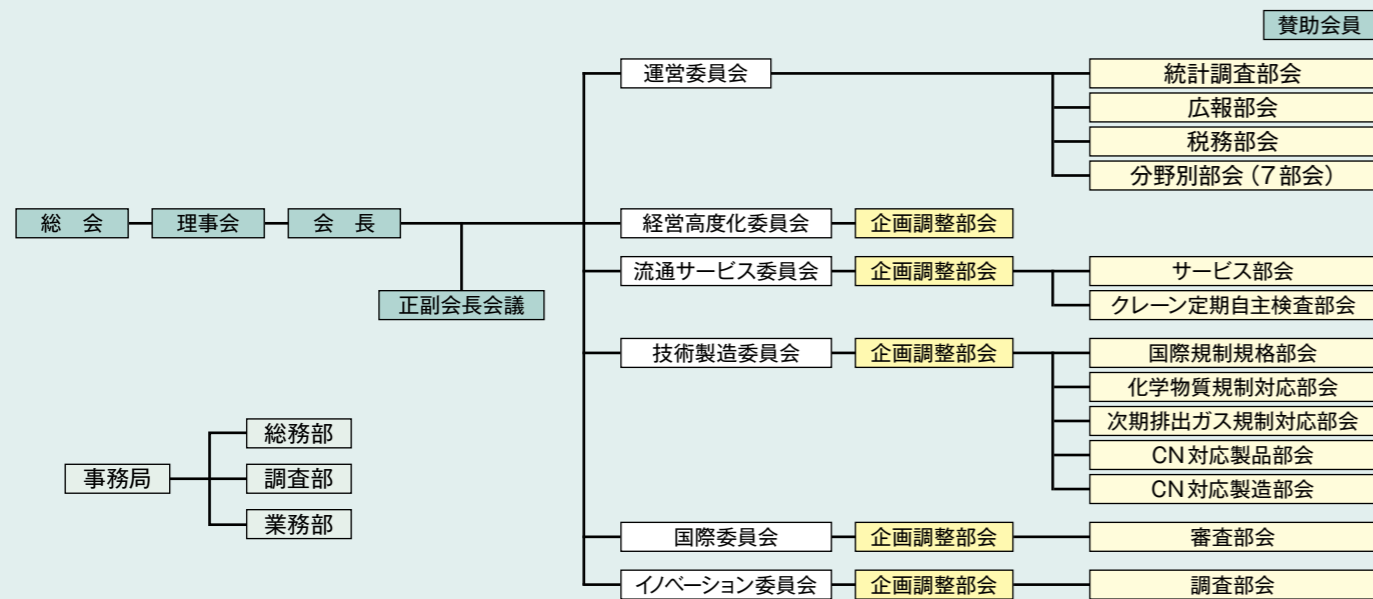
氏家 俊明 (株) タダノ 代表取締役社長兼 CEO
辻 勝 日工 (株) 代表取締役社長
深谷 道一 日本車輛製造 (株) 取締役 機電本部長
山口 正己 古河ロックドリル (株) 代表取締役社長
堀内 義正 北越工業 (株) 代表取締役社長
諏訪部 行生 丸善工業 (株) 代表取締役社長
京谷 弘也 三笠産業 (株) 代表取締役社長
ジュリアーノ パロディ ヤンマー建機 (株) 代表取締役社長

監事

山川 賢司 古河ユニック (株) 代表取締役社長
森木 英光 マルマテックニカ (株) 代表取締役社長
執行 裕子 (一社) 電子情報技術産業協会 理事

※専務理事、常務理事は常勤、その他は非常勤

組織



※ CN : カーボンニュートラル

会員名簿

List of Members

正会員

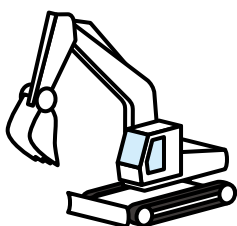
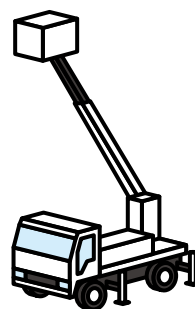
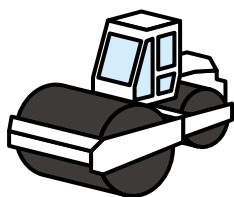
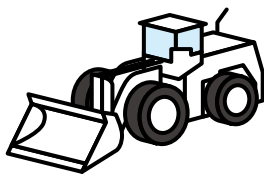
全 62社 (50音順) 令和 5年 12月現在

- | | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>あ IHI 運搬機械株式会社
株式会社アイチコーポレーション
アポロシステム株式会社
株式会社岩田商会
エクセン株式会社
エビロックジャパン株式会社
株式会社 MCD プロダクト
オカダアイヨン株式会社</p> <p>か 株式会社加藤製作所
関東鉄工株式会社
株式会社技研製作所
株式会社北川鉄工所
キャタピラー
キャニコム
極東開発工業株式会社
株式会社クボタ
鉦研工業株式会社
甲南電機株式会社
光洋機械産業株式会社
コベルコ建機株式会社
コマツ</p> | <p>さ 酒井重工業株式会社
株式会社坂戸工作所
三和機工株式会社
三和機材株式会社
株式会社シンテック
新明和工業株式会社
住友建機株式会社
住友重機械建機クレーン株式会社</p> <p>た 株式会社大一・テクノ
大和機工株式会社
株式会社タグチ工業
株式会社竹内製作所
株式会社タダノ
田中鉄工株式会社
調和工業株式会社
株式会社テイサク
デンヨー株式会社
東邦地下工機株式会社
株式会社東洋空機製作所</p> <p>な 長野工業株式会社
株式会社中山鉄工所</p> | <p>日工株式会社
日本車輛製造株式会社
日本ニューマチック工業株式会社</p> <p>は 範多機械株式会社
日立建機株式会社
株式会社日立建機カミーノ
ブソマイスター・ジャパン株式会社
古河ユニック株式会社
古河ロックドリル株式会社
北越工業株式会社</p> <p>ま 株式会社前田製作所
株式会社丸順
丸善工業株式会社
マルマテックニカ株式会社
三笠産業株式会社
三菱ロジスネクスト株式会社
株式会社明和製作所
株式会社諸岡</p> <p>や ヤンマー建機株式会社
ユタニ工業株式会社</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

賛助会員

全 58社 (50音順) 令和 5年 12月現在

- | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>あ 株式会社アマダ
荒井商事株式会社
株式会社アンテックス
株式会社イー・オタマ
いすゞ自動車株式会社
いすゞ自動車エンジン販売株式会社
伊藤忠商事株式会社
ヴィルトゲン・ジャパン株式会社
UBE マシナリー株式会社
NTN 株式会社
NTT・TC リース株式会社
エヌディーリース・システム株式会社
株式会社オカムラ
オリックス株式会社
音頭金属株式会社</p> <p>か カーゴテック・ジャパン株式会社
カヤバ株式会社
川崎重工業株式会社
株式会社栗本鐵工所</p> <p>さ サンドビック株式会社</p> | <p>JA 三井リース株式会社
シマブンエンジニアリング株式会社
昭和リース株式会社
新生コベルコリース株式会社
新東工業株式会社
住友ゴム工業株式会社
住友商事株式会社</p> <p>た 大洋商事株式会社
東京計器株式会社
東京ラヂエーター製造株式会社
東日興産株式会社
東洋製鉄株式会社
トビー工業株式会社</p> <p>な 中川特殊鋼株式会社
ナプテスコ株式会社
ニッセイ・リース株式会社
株式会社日本イー・エム・シー
日本ハネウェル株式会社</p> | <p>P&J 株式会社
福山ゴム工業株式会社
株式会社不二越
株式会社ブリヂストン
プレス工業株式会社
有限会社ベトンテック
ボクレンハイドロリックス株式会社
ポッシュ・レックスロス株式会社</p> <p>ま 株式会社マクスコーポレーション
丸紅株式会社
みずほリース株式会社
三井住友ファイナンス & リース株式会社
三菱 HC キャピタル株式会社
三菱商事株式会社
三菱ふそうトラック・バス株式会社</p> <p>や 山崎マシーナリー株式会社
UDトラック株式会社</p> <p>ら 株式会社リーデン
株式会社リョーサン</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



一般社団法人 **日本建設機械工業会**
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル10階
TEL : (03)5405-2288 FAX : (03)5405-2280
URL <https://www.cema.or.jp>

2024年3月現在